

(別紙3)

企画書に関する留意事項

(1) 様式及び添付資料

企画書の様式は提案者の自由とするが、A4 横で作成すること。A4 横のフラットファイルに両面印刷で綴じ込むため、その点留意すること。ただし、応募書類送付時には PDF 形式として送付すること。

(2) 留意事項

ア 表紙を作成すること。

イ 目次を記載すること。

ウ 提案事項の全体をまとめた概要を 2 頁以内で記載すること。概要の作成にあたっては応募フォーム及び審査基準との対応がわかりやすいものとなるよう留意すること。

エ プレゼンテーション審査において、主として使用する部分（企画書本体部分）は表紙・目次・中扉・概要を除いて 30 頁以内とすること。企画書本体のほかに補足説明用の部分（企画書付属部分）を企画書に含めることは妨げないが、企画書全体として 100 頁を超えないこと（表紙、目次、概要は除く）。

オ ページ番号を記載すること。

カ フォントは自由とするが企画書の本文記載は 10 ポイント以上とすること（付属図表等に関する文字の大きさはこの限りではない）。

キ 各ページ右肩に当該頁が応募フォームのどの項目に該当する事項に関する記述なのか項目番号を示すこと。

ク 使用する言語は日本語とする。

ケ 表紙には、表題として「社会課題解決に向けたスマートサービス実装事業 スマートサービス実装促進事業者 企画書」と記載すること。

(3) 企画書に盛り込むべき内容

【全般的事項】

ア 都の戦略や事業目的に適した提案内容とすること。

イ 本業務を実施するにあたっての体制（外部の主体も含む）

ウ スマートシティ関連業務、スタートアップ等に対する支援実績等、本業務を実施するに相応しい業務実績やその効果

【業務内容に係る事項】

ア スマートサービス実装促進に向けたロードマップ

3 か年度におけるスマートサービス実装の計画を示すこと。この際、より多様で多くの都民がスマートサービスの便益を享受するため、時期・場所の具体性、実現性

のある線表となっていることが望ましい。

イ 本事業を通して達成したい目標（どのような社会を目指すか、インパクトを創出したいか）

ウ 前述の目標達成に向けて、どのような領域又はスタートアップ等に対して支援を行うか、その基本的方向性

エ スマートサービス実装を想定しているエリアや業種・業界

エリアや領域についての制限はないものの、「インクルーシブ」をテーマとしたサービスは、特定の都民への便益向上に寄与すると同時に、様々な属性の人々にとって広く便益が提供されるような内容であることを期待する。

オ 速やかなスマートサービス実装が期待できるスタートアップ等をどのように掘り起こすかの具体的方策と見込み

カ スタートアップ等に対してどのような支援を行うかの具体的内容及び支援の効果の見込み

キ 他主体とどのように連携体制を構築し、どのような役割分担で支援を行うか（すでに調整済みのものなど）

ク 都からの協定金以上の成果を創出するための具体的方策

ケ スマートサービスの実装につながる事がわかる、KPI 項目の設計や数値の設定